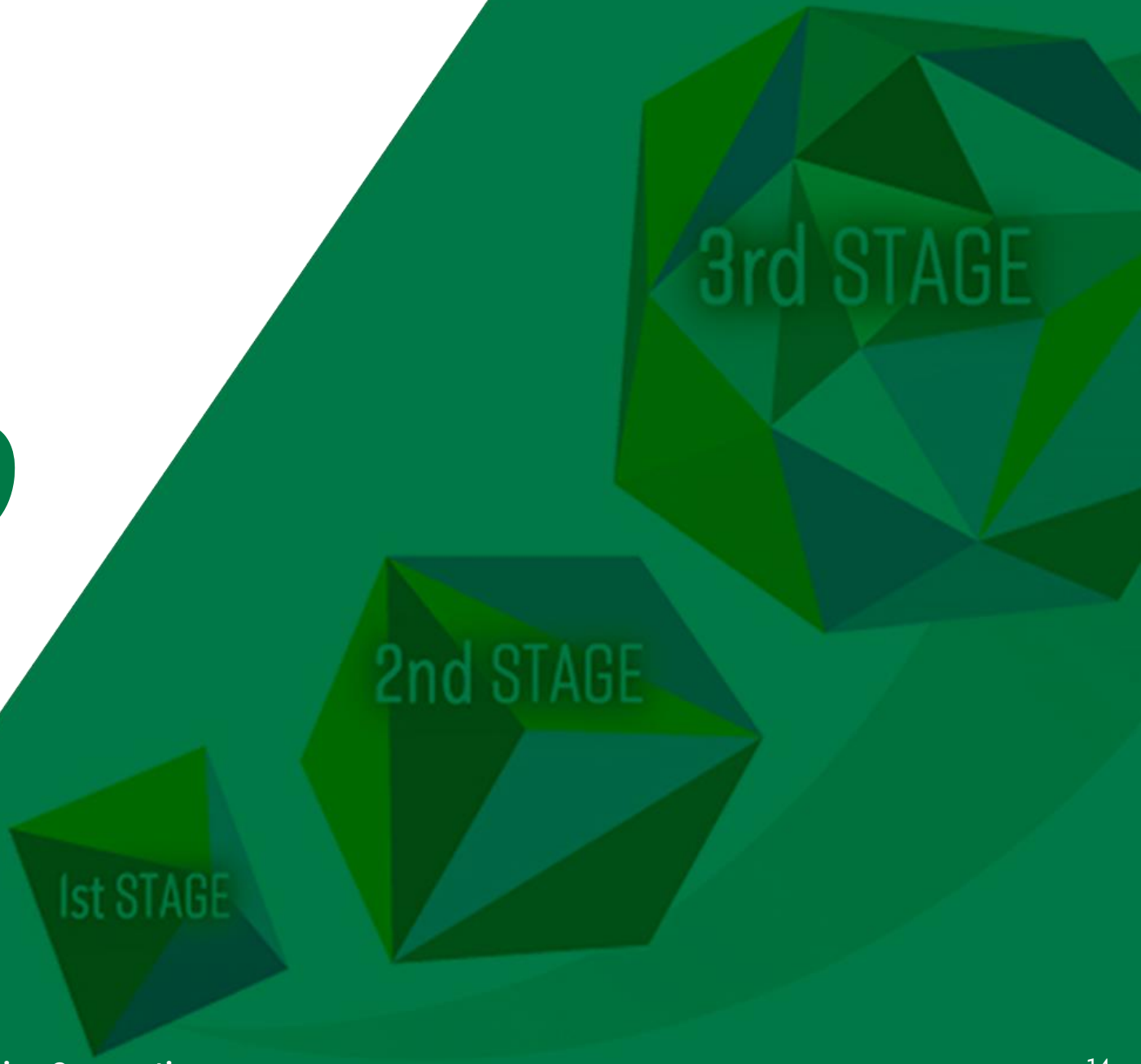
02

# Vision2030

ライオンの目指す未来



当社グループは、2030年に向けた経営ビジョン
「次世代ヘルスケアのリーディングカンパニーへ」
を掲げています。
ビジョン実現にむけ、パーパスを起点とした経営を
一層強化し、サステナブルな社会への貢献と
事業の成長を目指すべく中長期経営戦略フレーム
「Vision(ビジョン)2030」を策定。
アジアを中心に習慣づくりを通じた社会価値、
経済価値の創出を目指します。

**経営ビジョン**

## 次世代ヘルスケアのリーディングカンパニーへ

**3rd STAGE (2028-2030)**

より良い習慣づくりの拡大による
アジアにおける成長加速

**2nd STAGE (2025-2027)**

**収益力の強靭化**

**1st STAGE (2022-2024)**

成長軌道化と新たな成長起点の創出

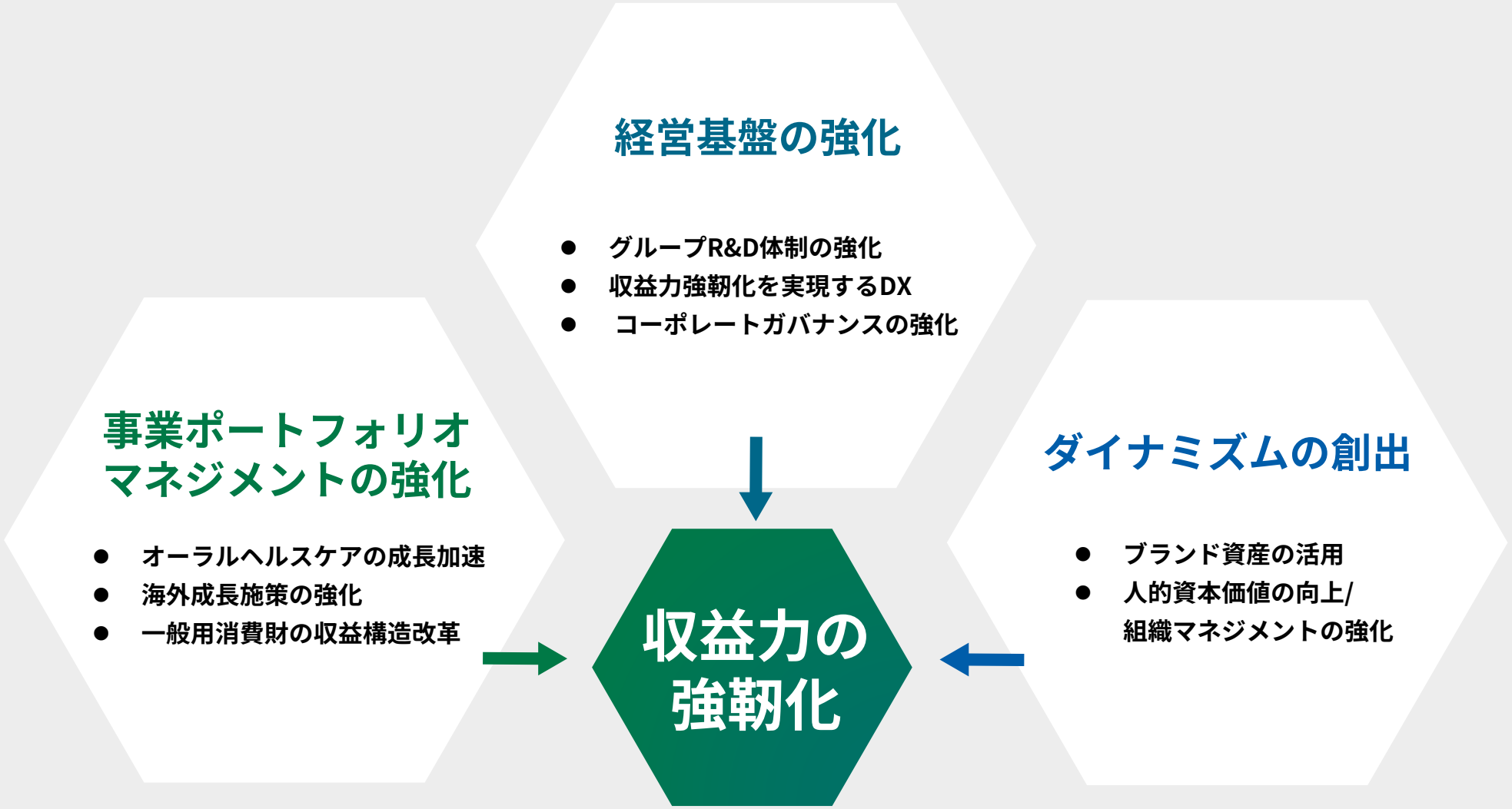
**パーパス**

ReDesign

## より良い習慣づくりで、人々の毎日に貢献する

Lion Corporation.

# 「Vision20302nd STAGE」における、収益力の強靭化に向けた3つの基本方針



# 経営資源の配分を先鋭化し、収益性の高い事業ポートフォリオを実現

成長性・資本収益性ともにグループを牽引する「オーラルヘルスケア事業」には国内外ともに積極的に経営資源を配分。
さらに、2024年から取り組んでいる「海外成長施策の強化」、「一般用消費財の収益構造改革」をさらに強化し、確実な収益性向上を図ります。

## オーラルヘルスケアの成長加速

製品とサービスの融合や価値提供範囲・対象市場の拡張により、ユニークかつ収益性の高いビジネスをアジアで展開していくことで、人々の「食べる・話す・笑う」に貢献します。

## 海外成長施策の強化

生活者ニーズを細やかに捉えた研究開発力や各国・エリアにおける配荷力を活かし、2nd STAGEではオーラルヘルスケアを中心にさらなる利益ある成長を目指します。

## 一般用消費財の収益構造改革

ブランドマネジメント強化、サプライチェーン効率化、プライシング・競争費用適正化といったアクションを実行。また、データを高度に活用した効率的なマーケティングを実践します。

# サステナブルな事業成長と効率性の高い事業運営のために３つの基盤を強化

## グループR&D体制の強化

イノベーション創出力の強化、製品開発のスピードアップを目的として、各拠点の役割を明確化。現地主導での開発により、よりニーズを捉えたスピード感のある製品開発を実行。また、日本・中国は技術イノベーションのハブとして、コア技術の深化・革新に重点をおいていきます。

## 収益力強靭化を実現するDX

デジタルを活用した製品・サービスなどの創出と付加価値最大化や、効率的なサプライチェーンマネジメントの実現、業務効率化を実施。また、デジタルと業務をつなぐ役割を果たすデジタル活用人材の拡充・育成に注力します。

## コーポレートガバナンスの強化

当社グループの企業価値向上に向けてガバナンス強化を図り、経営の質の向上を目指します。

# 戦略推進力の強化に向け、グループ資産を最大活用しダイナミズムを創出

## ブランド資産の活用

LIONの価値を高め資産化し、アジア全体で存在感を示すことや、グローカライゼーション戦略に基づくブランド展開を実施。コーポレートブランド、プロダクトブランドの資産価値を最大活用できるようにします。

## 人的資本価値の向上<br>組織マネジメントの強化

国境・組織を超えて活躍できる専門人材の育成・キャリア支援や、戦略を実行する組織力の強化を実施。個の成長と組織の力を最大限に引き出し、グループ全体での新たな価値創出を目指します。